

(公財) 東京動物園協会は、地球環境保全に向けて率先して行動していくための指針として、
「地球環境保全行動戦略」を策定しました。

策定の背景

【動物園・水族館】

「世界動物園水族館協会」や「日本動物園水族館協会」
 ⇒地球環境保全やSDGsに向けた動物園と水族館の使命を明示

【国】

「第五次環境基本方針」策定、「気候変動適応法」施行

【東京都】

気候変動適応方針やプラスチック削減プログラム等を発表
 第2次都立動物園マスタープランで環境教育の役割を明示

策定の方向性

- ▶ 当協会は、都の指定管理者として、「第2次都立動物園マスタープラン」の目指す姿を実現すべく、「**生物多様性保全への貢献**」を推進していきます。
- ▶ 施設維持管理においても、事業計画書に掲げる「**地球環境に配慮した施設運営**」に積極的に取り組んでいきます。
- ▶ 収益事業に関わる施策として、**廃棄物の抑制や資源の循環利用に努め、地球環境負荷低減**に取り組んでいきます。

戦略の位置付け

地球環境保全に向けた率先行動の指針

戦略1	生物多様性保全への貢献	飼育 展示	希少種保全や動物福祉向上などを通じて生物多様性保全に貢献
		教育 普及	生物多様性や生きた動物の魅力を広くわかりやすく情報発信
戦略2	気候危機への対応	温室効果ガス低減のために化石燃料エネルギーの消費削減などを実施	
戦略3	循環型社会への寄与	ペットボトル使用量削減などを通じて地球環境負荷低減を推進	
戦略4	地球環境保全に寄与する組織基盤の強化	研修等による職員の意識向上、事業の情報発信等、組織としての取組	

行動計画

- ・ 戦略を実現する具体的な取組として「行動計画」を設定
- ・ 計画期間は令和4～6年度の3年間
- ・ 達成状況の評価を踏まえ、戦略・行動計画を見直し

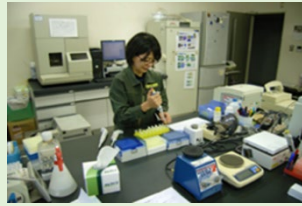
「4つの戦略」に基づく行動計画（取組事例）

戦略1 生物多様性保全への貢献

(1) 飼育展示における取組

▶ 野生生物保全センターの機能強化

都立動物園・水族園による保全活動を統括する「野生生物保全センター」の機能をさらに強化し、国内外の保全に積極的に貢献していきます。



野生生物保全センターでの試料測定

R6年度の到達目標 調査研究機能を充実させ、成果を論文等で発表

▶ 動物福祉の向上と維持

飼育下の動物について、生活の質等の福祉が保障されることが世界的に求められている現在、動物福祉の向上を図り、高いレベルを維持します。



動物福祉に配慮した採血訓練

R6年度の到達目標 組織横断的な枠組による評価改善プロセスを導入

(2) 教育普及における取組

▶ 教育機関との連携とデジタル技術の活用

学校教育機関との連携を通じて、より多くの子どもたちの環境教育や保全教育をサポートします。また、デジタル技術を活用した教育に貢献します。



オンラインによる教員対象セミナー

R6年度の到達目標 教育機関と連携した、きめ細かな教育普及プログラムの開発等

戦略2 気候危機への対応

▶ 省エネルギー施策の推進

園内設備の改良を図り、省エネルギー対策を着実に推進するとともに、緑のカーテンや遮熱フィルム等を活用し、冷房効率を向上させます。



葛西臨海水族園の緑のカーテン

R6年度の到達目標 各園において設置箇所を順次拡大

戦略3 循環型社会への寄与

▶ ペットボトル使用量の削減

地球環境に甚大な影響を与えている海洋プラスチックごみ削減のために、プラスチック類の適切な回収とリサイクル率を高め、海に流さない取組を推進します。



マイボトル用給水ステーション

R6年度の到達目標 ペットボトルリサイクルのための回収ボックス設置

戦略4 地球環境保全に寄与する組織基盤の強化

▶ SDGsをテーマとした講演会等、地球環境保全に関する意識啓発を図り、人材育成や事業基盤となる組織力の強化を推進します。